

プログラム

■ 11月29日(土) ■

【A会場】

12:50 開会式

13:00~14:00 教育講演 1

歯周病と咬合，そして全身

演者：佐藤 聡（日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座 教授）

14:05~16:35 一般口演

O-1

顎口腔系と全身機能に関する臨床的研究

- 尾澤文貞
尾澤歯科医院

O-2

聴力をセンサーとした、噛み合わせバランス治療により、歯槽骨の再生が見られた3症例

- 長坂 齊¹⁾、長坂俊幸²⁾、渡辺 誠³⁾、堀 雅明⁴⁾、野田隆二⁵⁾
長坂歯科¹⁾、東京歯科大学²⁾、東北福祉大学³⁾、堀耳鼻咽喉科⁴⁾、野田歯科医院⁵⁾

O-3

視床における顎関節機械受容情報の特徴

- 鈴木崇弘¹⁾、坪井明人²⁾、渡邊 誠³⁾
東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野¹⁾、東北大学東北メディカル・メガバンク機構²⁾、東北福祉大学総合福祉学部³⁾

O-4

健常者における咬合接触状態が咀嚼能力に及ぼす影響

- 杉山慎太郎、吉岡 文、尾澤昌悟、田中貴信
愛知学院大学歯学部有床義歯学講座

O-5

安保・酒井理論と医療ルネサンス –"iBS 治療"(=BOSS 療法)という自律神経免疫治療–

- 酒井 一¹⁾、安保 徹²⁾
基礎ストレス（カラダのストレス）研究所¹⁾、新潟大学名誉教授²⁾

16:40~18:10 特別講演 1

自律神経、白血球、エネルギー生成で知る病気の成り立ち

演者：安保 徹（新潟大学 名誉教授）

■ 11月30日(日) ■

【A会場】

9:00~10:00 教育講演 3

環軸関節を中心として考える頭頸部機能解剖学

演者：阿部伸一（東京歯科大学 解剖学 教授）

10:05~11:05 一般口演

O-6

交通事故等により外傷性に咬合関連症候群を発症したと疑われる症例における歩行動作時の3次元動作解析と特異的肩関節運動

○市橋研一、武村政徳
医療法人大智会 市橋クリニック

O-7

顎機能障害を有する患者の診断法と治療手順

○青木 聡¹⁾、多胡親孝²⁾
青木総合歯科/神奈川歯科大学/東北大学大学院¹⁾、青木総合歯科/神奈川歯科大学大学院²⁾

11:10~12:10 教育講演 2

全身と咬合—適正な下顎位を求めて—

演者：下川公一（北九州市小倉北区開業）

13:30~15:00 特別講演 2

かみ合わせと人間の進化

演者：橋本正次（東京歯科大学 法人類学 教授）

15:00~16:00 討論会「咬合の調和を考える」

日常臨床での実践 初診時の検査・咬合診断法

司会者：佐藤 亨（第24回日本全身咬合学会学術大会 大会長）
予定発言者：尾澤昌悟、金子勲夫、小出 馨、中村昭二

16:00 閉会式

【B会場】 ポスター発表および企業展示

展示時間	11月29日（土）	13:00～17:30
	11月30日（日）	9:00～14:30
討論時間	11月30日（日）	13:00～13:30

P-1

連続した努力最大開閉口運動による閉口時顎頭位の変化について

- 小出勝義、小出 馨、水橋 史、高橋 睦、浅沼直樹、佐藤利英
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座

P-2

顎ずれにおけるグローバル的調査研究

- 小西康三¹⁾、丸山剛郎²⁾
小西デンタルクリニック¹⁾、日本咬合臨床研究所²⁾

P-3

咬合接触面積の分布様相と咬合痛発現との関連性の検討

- 江刺香苗¹⁾、坪井明人²⁾、渡邊 誠³⁾
江刺歯科医院¹⁾、東北大学東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門²⁾、
東北福祉大学感性福祉研究所³⁾

P-4

顎機能および骨格形態とブラキシズムパターンの関連について

－矢状前方顎路角および咬合平面とブラキシズムパターンの関係－

- 多胡親孝¹⁾、青木 聡²⁾
青木総合歯科/神奈川歯科大学大学院¹⁾、青木総合歯科/神奈川歯科大学/東北大学大学院²⁾

P-5

忘れていませんか？舌の位置を一舌の位置感覚が顎位の機能障害に及ぼす影響について－

- 小菅伊知郎¹⁾、新居弘章²⁾
こすが歯科医院¹⁾、戸田中央総合病院（脳神経外科）²⁾

P-6

クローズドロックを伴う過蓋咬合患者にスプリント及び矯正治療を施した一症

- 笠原可愛、生田沙織、吉本彰宏
吉本矯正歯科

P-7

様々な不快症状を持つⅢ級骨格 Deep Bite の高齢者に対する矯正治療について

- 多胡親孝¹⁾、青木 聡²⁾
青木総合歯科/神奈川歯科大学大学院¹⁾、青木総合歯科/神奈川歯科大学/東北大学大学院²⁾